

第1回 山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）検討委員会 議事内容

日時：平成27年10月28日（水）14:00～16:00

場所：富士吉田合同庁舎2階大会議室

■委員会出席者

24名出席（うち、代理4名）、3名欠席

■議事内容

- ①山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）について
- ②富士北麓地域における自転車利用環境の現状と課題
- ③目指すべき目標（案）
- ④対応方針（案）
- ⑤対策メニュー（案）
- ⑥今後のスケジュール



第1回委員会の状況

■議事

【委員1】

- ・資料には、「忍野八海周辺にサイクリングロードが整備されている」と記載されているが、忍野八海周辺にサイクリングロードは整備されてなく、県道自転車道線が存在する。また、自歩道の整備については国道138号忍野入口から忍野美術館までの数百メートルであり、それ以上の整備は難しい。路面平坦性について、今後補修等を検討していくが、そういった状況の中で、モデルコースと選定された忍野村内のルートは、死角となる危険な箇所が存在し、ルートとして再検討すべきではないか。

【事務局回答】

- ・今回、自転車を活用することにより観光客を呼び込もうとしている。今回のルートの中で、自転車を誘導することが危険である箇所があると指摘していただければ、案内しないことも含めて検討すべきである。一方、忍野八海は、著名な観光地であるので、自転車ユーザーにも巡っていただきたい。今回の委員会で提示したモデルコースは、既存のサイクリングガイドマップから抽出したもので、各市町村の道路事情や意見を踏まえ、必要に応じルート変更等の対応をさせて頂きたい。

【委員長】

- ・まず、ルート変更等を検討していただく。また、死角の存在は問題であり、特に、逆走自転車が危険である。そのあたりも踏まえ検討すべきである。

【委員 2】

- ・ハード整備の場合、費用負担はどうか。

【事務局回答】

- ・現時点では各道路管理者で整備していただきたいと考えている。また、国の補助金適用が可能かどうか検討し提案していきたい。

【委員長】

- ・現在のルートでは、山中湖湖畔は時計周りとなっているが、湖沿いを走りたい利用者は、危険な逆走となるため、反時計周りに変えた方が安全だと思う。

【委員 3】

- ・ほとんどの利用者は反時計周りしている。また、花の都公園付近では、30年前に県がサイクリングロードを整備している。もう一回現場の確認をしていただきたい。

【事務局回答】

- ・現地等確認のうえ、資料を修正させていただく。

【委員 4】

- ・狭い路側帯の対応は厳しいと思うが、それに対して効果的な整備事例があれば、提示していただきたい。

【事務局回答】

- ・そういった先進事例があれば、提示する。

【委員長】

- ・路肩が1mや1.5m未満の対応は、全国で検討されており事例があると思う。

【委員 5】

- ・海外からの自転車利用者については、初級者の方が多いと思われる。海外の自転車利用者の事故事例があるか。また、海外の利用者に対し、有効的な自転車通行ルールやマナーの周知方法があるか。

【委員長】

- ・海外の自転車利用者の事故例はあまりないと思う。海外では、右側通行の国が多いので、日本に來ると、逆走になってしまう。しまなみ海道の場合、路面に通行

方向を示す矢羽を設置しており、海外の自転車利用者に左側通行を守らせるための手段として、有効であると思う。

【委員6】

- ・法定外のサイン等ハード、ソフト面の整備を検討する際に、富士山一周等を念頭に入れて、利用者に混乱させないように、ある程度、他県との統一を図った方が良いと思う。また、自転車利用者は、推薦されているルートを走行するとは限らないので、そのあたりも想定し、検討していただきたい。

【委員長】

- ・路面表示等を検討する際に、自転車のピクトサインは万国共通であるので、それを設置すれば、海外の利用者も理解できるため、必ず設置した方が良い。
- ・目指すべき自転車観光のキーワードは達成感だと思う。一周回ってきたという達成感が見えるルートがサイクリストにとっては魅力的である。関西では琵琶湖一周等があり、観光施設はサイクリストにとって重要な休憩施設となっている。そのため、観光施設のサイクリストの受け入れ体制を戦略的に強化し、パンフレット等で休憩施設の情報を伝達することが重要である。

【委員7】

- ・対策メニュー（案）に記載している乗り捨て可能なレンタサイクルシステムの構築については、県や市町村を主体として導入するのか、それとも、既存の事業者の間で、ルールを決めるというものか。

【事務局回答】

- ・現時点では、県や市町村を主体として乗り捨て可能なレンタサイクルシステムを導入することは考えていない。あくまで、民間事業者の事業展開を促すことを考えている。

【委員長】

- ・乗り捨て可能なレンタサイクルシステムについては、色々な仕組みがあり、広域的に構築すれば乗り捨て可能となり、戻ることを考えなくてすむので走行距離や滞在時間はかなり増える。